

これまでの実証実験

自動運転による移動サービスの実現に向けたバス車両による実証実験は、これまで自動走行機能の付与し易さの観点から、小型バスに限定して実施されている。

交通(路線バス)事業者には、大型・中型バスについても実証実験を行いたいというニーズが存在

今後の方針

**バス事業者の要望の多い中型路線バスの自動運転化開発、
地域実証に取り組む**



2019年度

中型自動運転バスの開発: 中型バス製造、制御系の改修、ブレーキ改造、ナンバー取得、自動運転化改造、試走検証: **2台を準備予定**

中型自動運転バスによる実証評価準備: 自動運転バスコーディネーターの企画選定、実証事業者の公募・選定、小型バスを用いたプレ実証(1地域の予定)、実証準備

2020年度

実証実験の実施: 2事業者、2カ所以上で実証実験を実施予定(3から6カ月の長期実装の予定)

